

報道各位

## ～TOKYO FM 『MEDIA PRESENTATION 2014』 実施のご報告～ 生活者が動く！コミュニティ形成型、全国ネットワーク

TOKYO FM では、当社をはじめとするネットワークのメディアパワーについてプレゼンテーションを行なう「TOKYO FM メディアプレゼンテーション 2014」を、本日 11 月 12 日(火)16 時 30 分より、ホテルニューオータニ「鶴の間」において開催しました。広告主・広告会社・報道関係者など約 1200 名がご来場されました。

本年のプレゼンテーションテーマは「生活者が動く！コミュニティ形成型、全国ネットワーク」。Twitter や facebook、LINE などのソーシャルメディアが普及するなか、TOKYO FM のコンテンツに対するリスナーの共感がソーシャルメディアを介して広がり、リスナー同士の新たなコミュニティが形作られるという状況が生まれています。このようにラジオ番組を中心に、ソーシャルメディア、Web、イベントなどを多面的に組み合わせた統合メディア型コミュニケーションの企画事例をご紹介致しました。

また「アースコンシャス(地球を愛し、感じる心)、ヒューマンコンシャス(生命を愛し、つながる心)」のステーション理念に基づき、東日本大震災以降、継続してきた番組や活動のほか、日本郵便株式会社、イオン株式会社との業種を越えた防災協定についてもご紹介しました。さらに来年の夏いよいよ放送開始となる V-Low マルチメディア放送の具体的なサービスイメージもご説明させていただきました。

プレゼンテーションの最後に、当社代表取締役社長・千代勝美が、来場者への御礼と共に、下記の内容を述べました。

「当社は、1990 年から「アースコンシャス～地球を愛し、感じる心」、そして 2005 年にスタートした「ヒューマンコンシャス～生命(いのち)を愛し、つながる心」のステーション理念の実践に取り組んで参りました。それを機軸に、番組を核として Buzz を起こし、ソーシャルメディア、映像メディア、イベント展開等、様々なメディアを融合させ、今日の「超」多メディア時代と共生する「統合メディア戦略」という新しいコミュニケーションデザインを深化させて来ました。

また、JFN 全国 38 局ネットワークの連携力で、それぞれの地域のコミュニティに密着した展開が全国に発信され、新たに全国の共感を形成して、大きなムーブメントを創造して参りました。

そのダイナミズムをぜひ皆様の営業・マーケティング活動に連動させ、ご活用頂ければ幸いです。

来年 2014 年は、こうした考え方、実践の方向を更に発展させ、コミュニケーション新時代へ向け挑戦して参ります。

1990 年より世界に発信しているアースデーコンサート、「EARTH×HEART(アース・バイ・ハート)」を中心に、今後特にアジアの人々とアース&ヒューマンコンシャスの哲学を共有して行くために、アジア諸国のステーションと連携の絆を深めて参ります。音楽や文化の相互交流がその接着剤の役割を果たしてくれます。

また、我々 JFN38 局は公共的使命として、今後想定される自然災害に対する対応力を強化するため、日本郵便株式会社、そしてイオン株式会社と防災協定を締結いたしました。災害時に真に国民のお役に立てますよう、今後も社会的活動の継続と強化を図ってまいります。

FM はスマホやタブレットなどで、「radiko.jp」「ドコデモ FM」「LISMO WAVE」など IP サイマルアプリを通じて聴取機会が拡大していますが、若い次世代のリスナーを開拓し、共感を育むために、「Skyrocket Company」などに続く新しいコンテンツ作りにもチャレンジして参ります。

そして、放送新時代への大きなチャレンジが、来年からスタートする「V-Low マルチメディア放送」です。従来の放送の概念を超えて、放送と通信の融合による新しいコミュニケーション・インフラの構築を行って参ります。

「V-Low マルチメディア放送」は放送事業者だけでなく、一般の企業も参画できる初めての機会ですので、JFN38 局はもとより、多様な業種のパートナーの皆様と連携して取り組んでいきたいと思っております。

まずは九州・福岡地区で、長年の実証実験の経験を基に、来年夏の本放送スタートを目指して参ります。

TOKYO FM は、皆様のコミュニケーション活動の強化に貢献できますように、生活者に役立つことに第一義的な視点を置いて FM の発信力・拡散力を今以上に強め、メディアにおける立ち位置を強化して参ります。

更には、次世代のメディア創造や技術革新に向けて、経営陣と全社員が一丸となって全力で取り組む所存でございます。」